青き楓

島高だより
平成２７年６月
（高総体特別号）
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

県高校総体特集

レスリング
弓道女子
剣道男子
剣道女子

優勝旗４本!!

「島高健児　ここにあり！」

教頭　石山　雅晴

６月５日（金）、朝から降り続く雨で実施が危ぶまれた総合開会式でしたが、開始１時間前には雨も上がり、予定どおり行われました。「県下ナンバー１の行進」の伝統を受け継ぐべく練習を重ねましたが、当日は、旗手のバレーボール部主将の本多優志くんを先頭に、力強い行進をお見せできたのではないかと思います。

さて、今年度の高総体では、初日のレスリング、３日目の剣道男・女、弓道女子の団体４種目において優勝旗を獲得し、また、個人においても、レスリング・剣道で７人の優勝者を出す等、すばらしい結果を残しました。これまでの高総体で見た幾度もの逆転劇を思い返すと、勝つことが当然のように語られる部においても、相当のプレッシャーの中でよくぞ結果を出してくれたと思います。

もう一つ、特筆すべきは、すべての団体種目において初戦突破という結果を残してくれたことです。学習との両立の中で苦しみながら続けてきた生徒諸君の努力は勿論ですが、顧問・コーチ、そしてご家族の励まし・支えがあったからこその結果だと思います。

大会期間中、私もいくつかの部を応援に回りましたが、負けた試合でも、最後まで諦めない島高生の姿に何度も胸が熱くなりました。代休の日に佐世保で行われたラグビー部の試合も印象的でした。相手は第一シードの長崎北高。体格を含め、圧倒されるような雰囲気の中、突進してくる相手プレーヤーに果敢にタックルし、何度も相手の攻撃を食い止め、また、一歩でも前進しようと向かっていく姿は、本当に立派だったと思います。試合が終わり、ベンチ前に戻ってきて涙を流す選手たちを見て、応援に行ってよかったと思いました。

違う視点からになりますが、長崎新聞に、競技終了後の丁寧な片付けの爽やかさということで本校体操部の中村竜之介くんのインタビュー記事が掲載されたのも、島高生らしく嬉しくなりました。同じようなことが他競技でもたくさん見受けられ、スポーツを通して、人間的に成長していくということを、また実感することができました。

今年度の高総体を無事に、そして大きな成果とともに終了できたことを、島高を支えていただいているすべての皆様に感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

レスリング競技は、６月６日、７日に大村工業高校体育館で行われ、団体戦は島原翔南高校に７対０、大村工業高校に７対０、島原工業高校に５対２で勝ち、団体優勝することができました。また、個人戦では５階級で優勝することができました。

３年生を中心にチームみんなが力を合わせたことと、皆さんの応援のおかげで勝つことができたのだと思います。応援ありがとうございました。次の九州大会、インターハイに向けても、一致団結して頑張っていきます。引き続き、応援よろしくお願いします。

私たちは３年ぶりに、団体優勝をすることができました。チームは２年生中心でした。２年生はみなとても緊張したと思いますが、互いに励ましあって頑張ってくれました。また、どこの学校にも負けない仲間たちの応援が心強く、力になりました。とても感謝しています。

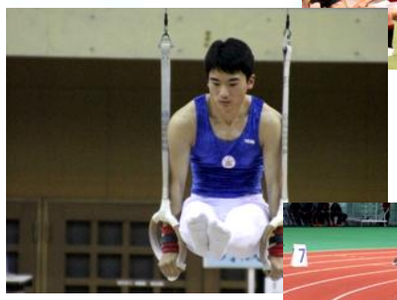
優勝できたのは、今まで熱心に指導してくださった先生方、支えてくれた仲間や家族のおかげです。この優勝を自信にし、九州大会、インターハイに向けてこれからも頑張ります。たくさんの応援ありがとうございました。

私たち剣道部男子は、今回の高総体で部員一丸となって戦い、団体戦、個人戦ともに優勝し、九州大会とインターハイへの出場権を獲得することができました。

決して楽な試合ではありませんでしたが、一人ひとりが今まで積み上げてきたものをしっかりと出せた結果だと思います。これからも、ご指導くださる先生方や支えてくださっている方々への感謝を忘れず、部員全員の目標である「全国制覇」に向けて、さらに稽古に励んでいきたいと思います。応援ありがとうございました。

今回の高総体では、男女団体優勝、個人も上位を占め、完全優勝を果たすことができました。このような成績を残せたのも、いつもご指導いただいている先生方や応援してくださった皆さんのおかげです。本当に感謝しています。今回の大会は、私たちの目標である全国制覇への通過点でしかありません。これから、九州大会や玉竜旗、インターハイに向けて、稽古に死に物狂いで取り組み、支えてくださる方への感謝の心を忘れず、今後も頑張っていきます。これからも応援よろしくお願いします。

平成27年度 県高校総体結果



九州大会・インターハイに出場する選手を
引き続き応援しましょう！

全ての部が初戦を突破！

バスケットボール	<1回戦>　対　対馬　94－61　勝　　<3回戦>　対　長崎西　53－122　敗　　ベスト16
男子	<2回戦>　対　九文　95－62　勝
バスケットボール	<1回戦>　対　壱岐商業　95－23　勝
女子	<2回戦>　対　明誠　53－76　敗
陸上競技	菅翔輝　砲丸投　8位
男子	吉田聡士　400mハードル　第5位　**→北九州大会出場**
陸上競技	德永香子　1500m　5位　**→北九州大会出場**
女子	德永香子　3000m　3位　**→北九州大会出場**
	下田麻衣　砲丸投　3位　**→北九州大会出場**
	高木佳奈　走高跳　8位
剣道男子	[個人]　松﨑賢士郎　**優勝**　→　**インターハイ・九州大会出場**
	藤野聖那　**準優勝**　→　**インターハイ・九州大会出場**
	[団体]　準々決勝　対　長崎工業　5－0　勝　・　対　長崎日大　3－0　勝
	準決勝　対　西海　3－0　勝　　決勝　対　西陵　3－1　勝　　**優勝**　→　**インターハイ・九州大会出場**
剣道女子	[個人]　藤崎薫子　**優勝**　→　**インターハイ・九州大会出場**　　堤麻衣子・中西蓮詩　ベスト16
	竹中美帆　**準優勝**　→　**インターハイ・九州大会出場**
	[団体]　準々決勝　対　向陽　5－0　勝
	準決勝　対　長崎日大　3－0　勝　決勝　対　西陵　3－0　勝　　**優勝**　→　**インターハイ・九州大会出場**
テニス男子	[個人]　シングルス　入江航太　ベスト16　　ダブルス　入江航太・大場託斗　ベスト16
	[団体]　<2回戦>　対　長崎工　3－0　勝　　<3回戦>　対　佐世保北　1－2　敗　　**ベスト8**
テニス女子	[団体]　<2回戦>　対　佐世保高専　不戦勝　　<3回戦>　対　海星　0－3　敗　　**ベスト8**
レスリング	[個人]　50kg級　金子功誠　60kg級　喜多豊和　74kg級　大津拓馬　96kg級　濵本大徳
	120kg級　宮田大輝　‥‥**優勝**　→　**インターハイ・九州大会出場**
	55kg級　金子将大　60kg級　永石奏　66kg級　石橋智啓　74kg級　岩永昂樹
	84kg級　峰正隆　‥‥**準優勝**　→　**九州大会出場**
	66kg級　吉田薫平　84kg級　竹内裕哉　‥‥**第3位**
	[団体]　<第1試合>　対　島原翔南　7－0　勝　　<第6試合>　対　島原工業　5－2　勝
	<第3試合>　対　大村工業　7－0　勝　　**優勝**　→　**インターハイ・九州大会出場**
ソフトテニス男子	[団体]　<1回戦>　対　大村　2－0　勝　　<2回戦>　対　佐世保北　1－2　敗
ソフトテニス女子	[団体]　<1回戦>　対　長崎女子　3－0　勝　　<3回戦>　対　佐世保東翔　2－0　勝
	<2回戦>　対　長崎北　2－1　勝　　<準々決勝>　対　長崎商業　0－3　敗　　**ベスト8**
バレーボール男子	<2回戦>　対　長崎西　2－0　勝　　<3回戦>　対　鎮西　0－2　敗　　ベスト16
バレーボール女子	<1回戦>　対　佐世保西　2－0　勝　　<3回戦>　対　向陽　0－2　敗　　ベスト16
	<2回戦>　対　五島海陽　2－0　勝
弓道男子	[団体]　2次予選敗退
弓道女子	[団体]　決勝リーグ　対　諫早農業　8－6　勝　・　対　長崎北　9－10　敗　・　対　佐世保西　13－11　勝
	対　明誠　11－8　勝　・対　長崎南　14－9　勝　・　対　純心　12－11　勝
	優勝　→　**インターハイ・九州大会出場**
ラグビー	<1回戦>　対　大村城南　22－7　勝　　〈3回戦〉　対　長崎北　0-81　　**ベスト8**
	<2回戦>　対　長崎西　31－10　勝
体操男子	[団体]　第5位
体操女子	[団体]　**準優勝**
サッカー	<1回戦>　対　佐世保東翔　3－0　勝　　〈3回戦〉　対　鎮西　0－1　敗　　ベスト16
	<2回戦>　対　長崎工業　3－0　勝